

自然体験活動指導者養成研修(NEALリーダー)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者（NEAL リーダー）を養成する。

○ 実施期間

平成30年9月27日（木）～平成30年9月29日（土）2泊3日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

自然体験活動を指導する意思のある18歳以上の方（16名／30名）

○ 活動プログラム

	9月27日（木）	9月28日（金）	9月29日（土）
午前		講義・実技 「自然体験活動の技術①」（3.0h）	講義・実技 「自然体験活動の技術②」（3.0h）
午後	13:00 受付・開講式 ガイダンス（0.5h） 講義 「青少年教育における体験活動」（1.5h） 講義・実技 「自然体験活動の指導」（1.5h）	講義・実技 「自然体験活動の特質」（3.0h） 講義・演習 「自然体験活動の安全管理」（3.0h）	認定試験（0.5h） 事務手続き説明（0.5h） 閉講式 14:30 送迎バス 出発
夜	講義 「対象者理解」（1.5h）		

2. 活動の様子

<1日目>

NEAL 制度の仕組み、NEAL リーダーの役割を理解するガイダンスの後、小野保所長より「青少年教育における体験活動」の講義を行った。青少年教育の目的・目標について紹介があった後、体験活動の意義や効果について学んだ。講義のまとめとして、「子どもゆめ基金の助成を受けて事業を実施する」という想定のもとに、事業の模擬プランを作成するワークショップを実施した。「自然体験活動の指導」では瀬沼健次長が指導者としての基本的な心構えについての講義を行った。「対象者理解」では菱川裕輝事業推進係員より対象者理解の必要性と方法、各年齢期の特徴理解、対象者への配慮事項について講義があった。



<2日目>

「自然体験活動の技術①」では野外炊事を題材に瀬沼次長、成松恵事業推進係員が演習指導を行った。ダッチオーブンを使用してローストチキンを調理し昼食を兼ねた。菱川係員が担当した「自然体験活動の特質」では森の中に活動の場を移し、木々や落ち葉を用いたネイチャーゲームを織り交ぜながら地域の自然体験活動の特色を理解する内容を学んだ。「自然体験活動の安全管理」は松下泰山企画指導専門職がKYT(危険予知トレーニング)をもとに、安全管理がすべての自然体験活動プログラムの土台となることを講義した。



<3日目>

「自然体験活動の技術②」では瀬沼次長より様々な自然体験活動のプログラム紹介の他、プログラムにはそれぞれの狙いがあり、導入・展開・まとめの構成のなかで魅力的で楽しく感動を伝えられることが大事であることが提示された。講義・演習のまとめとして認定試験を行い、参加者16名全員が合格し、NEALリーダーとしての資格認定を受けた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・指導者として必要な事、大切なことを多く学びました。
- ・これからの活動に役立つことを学ぶことができてよかった。実際に体験をして楽しみながら学ぶことが出来た。
- ・学ぶこと、考えさせられること、楽しいことがたくさんあり充実した2泊3日でした。

○ 事業の成果

- ・体験を重視し、講義で内容理解を深める組み立てを行ったことで、参加者から高い満足度を得られた。参加者の大多数は、既に法人ボランティアとしてアクティブに活動している方たちであるため、受講意欲も非常に高く、効果的な研修となった。また法人ボランティアとしてのスキルアップ研修、フォローアップ研修の位置づけとしても実施することが出来た。

本年度はボランティア養成講座との連続開催から切離して3日間の日程を独自にとる試みを行ったが、前述の成果が見られたことから次年度以降も同様の形態で実施していきたい。

○ 事業の課題

- ・事業予算の見直しから本年度は外部講師を招聘せず、所内のNEALコーディネーター・主任講師資格者にて対応した。このことによって、参加者満足度や講習内容の低下は認められなかったが、受講者に外部講師の講義演習を提供する貴重な機会を逸することとなったのは担当者として非常に残念に思う。
- ・本年度は9月に開催したが、主たる受講者として想定している大学生にとっては集中講義、実習との日程調整に苦労があった。次年度は10月の連休を予定しているが、例年の開催日程を固定化できるよう、今後数年の取り組みの中で模索していきたい。